

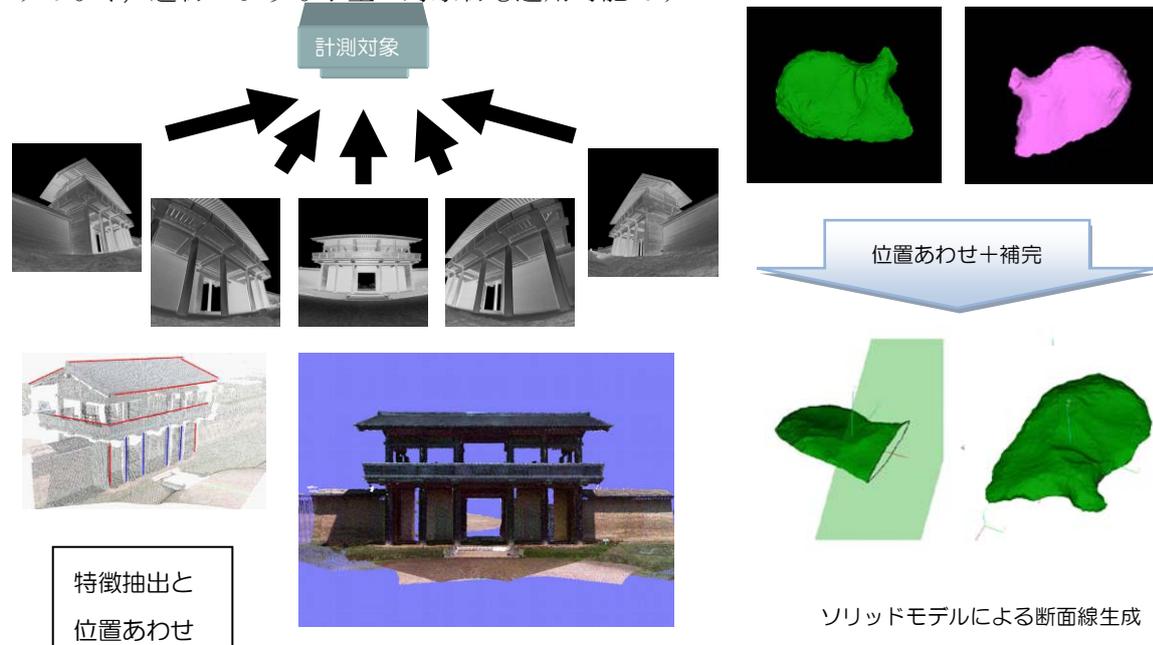
シーズ名	3次元形状計測技術開発とその応用	分類：6
所属 / 職 / 氏名	工学部 電気電子・情報システム工学科 / 教授 / 今野晃市	
キーワード	3次元計測, レーザー装置, 計測点群位置合わせ, 特徴線抽出	

どんな技術？

一言アピール

3次元計測機器から得られた座標点群を処理し、計測対象の表面を復元、解析する技術です。

本研究は、3次元計測機器で計測された複数方向の座標点群を統合化して、対象物を復元する手法を提供するものです。複数方向から計測された点群を解析して、特徴線を抽出し、特徴線に基づいて点群を位置合わせすることができます。本手法は、建築物のような大型の対象物だけでなく、遺物のような小型の対象物も適用可能です。



何に使えるの？

3D コンテンツ制作, 複数同時計測向きのデータ位置あわせ, 計測データと設計データの差分検出

関連特許

関連資料等

金野哲士, 今野晃市:3次元計測点群からの円柱形状認識と中心軸推定-志波城外郭南門復元の試行-,日本情報考古学会誌, Vol.13, No.2, pp.1-9, (2008).

金野哲士, 今野晃市, 千葉則茂:平面性に基づいた測定点群の階層的な領域分割による稜線抽出法,芸術科学会論文誌, Vol.6, No.4, pp.197-206, (2007).

<http://gmhost.lk.cis.iwate-u.ac.jp>